

令和3年度

第1回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和3年4月9日(金)
開会13時35分 閉会14時50分

場 所 教育委員室

令和3年度
第1回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第1号議案 令和3年度大分県教科用図書選定審議会委員の任命について

(2) 報 告

① 令和3年度大学入試結果について

② 令和3年度スーパーサイエンスハイスクールの採択について

(3) 協 議

① 令和4年度（令和3年度実施）教員採用選考試験実施要項（案）について

② 令和4年度（令和3年度実施）民間人校長採用選考（案）について

③ 令和4年度（令和3年度実施）大分県教育庁等職員（埋蔵文化財担当）
採用選考（案）について

④ 大分県社会教育委員の委嘱について

(4) その他

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	工 藤 利 明
	委 員 (教育長職務代理者)	林 浩 昭
	委 員	岩 崎 哲 朗
	委 員	高 橋 幹 雄
	委 員	高 鈴 木 恵 代
	委 員	岩 武 茂 代
事務局	教育次長	渡 辺 登
	教育次長	久保田 圭 二
	教育次長	米 持 武 彦
	教育改革・企画課長	重 親 龍 志
	教育人事課長	大 和 孝 司
	義務教育課長兼幼児教育センター所長	武 野 太
	高校教育課長	三 浦 一 雄
	社会教育課長	後 藤 秀 徳
	教育改革・企画課 主幹 (総括)	門 野 秀 一
	教育改革・企画課 主査	末 松 敬 雅

2 傍聴人

1 名

開会・点呼

(工藤教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から、議題ごとに、関係課長のみ入室しますので、よろしくお願いします。

(工藤教育長)

令和3年度第1回目の教育委員会会議ですので、年度の初めに当たり、私の方から一言申し上げます。

昨年度の1年間、新型コロナウイルス感染症により、皆さんにもずいぶん心配をおかけしたところですが、依然としてその状況が変わっていません。さらに、変異型ウイルスによる感染の波が押し寄せてこようかという状況になっています。そのような中で、県教育委員会の重点方針として、大きく3点を掲げておりますが、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を前提として、3つの取組を進めていこうとしているところです。

一つ目は、「子どもの力と意欲の向上に向けた組織的な取組の推進」です。これまで続け、第3ステージとなった「芯の通った学校組織」の取組の2年目を確実に実行していくということです。

二つ目は、「GIGAスクール構想の実現（教育のデジタル改革）」です。いよいよ、学校現場の全ての子どもたちに一人一台の端末が整ってきました。実際に動かすのは、いろいろな条件整備ができてからということになりますが、この端末を着実に使えるようにして、主体的・対話的で深い学びの実現に結びつけることが大事だと思っています。

三つ目は、「地域を担う人づくりと活力ある地域づくりの推進」です。地方創生の最大の課題は人口減少です。これから更に、児童生徒数が減っていくという中で、大分県を支える人材を教育でしっかりと育成していくことが大事だと考えています。

この3つの柱を、皆さんと一緒に進めていきたいと思っています。

そして、平成20年の事件の発覚から、13年が経過しました。昨年度内で、ようやく全ての処理が終わったという状況にはなりましたが、改革を進めるという姿勢は決してとどめてはいけないと思っています。

子どもたちにしっかりと結果を残せるように、皆さんと一緒に頑張っていききたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(工藤教育長)

それでは、ただ今から、令和3年度第1回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(工藤教育長)

本日の議事録の署名については、高橋委員にお願いします。

会期の決定

(工藤教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は14時40分を予定していますので、よろしくお願いします。

議 事

(工藤教育長)

始めに、会議は原則として公開することとなっていますが、第1号議案、協議①、協議②、協議③及び協議④は、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

第1号議案、協議①、協議②、協議③及び協議④は、非公開といたします。

(工藤教育長)

本日の議事進行は、始めに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

【報 告】

① 令和3年度大学入試結果について

(2課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(工藤教育長)

それでは、報告第1号「令和3年度大学入試結果について」高校教育課長から説明をしてください。

(三浦高校教育課長)

令和3年3月に卒業しました県立高校生徒の進路状況について、報告します。今回は、大学等の進学状況であり、令和3年3月31日時点の数です。就職の状況につきましては、現在、集約中ですので、5月の教育委員会会議にて報告します。

資料1ページをご覧ください。

「1 大学入試の合格状況について(概況)」に概況をまとめておりますが、それぞれの表について説明します。

「2 合格状況概要」をご覧ください。令和3年3月卒業生の状況を右端に示しています。今年度の卒業生数は6,938名でした。その下の合格者数につきましては、「延数」と「実数」を記載しており、「延数」は、1人の生徒が複数の大学に合格した数を加えたものです。中ほどの国公立大学の「現役実数」のとおり、1,673名の生徒が合格しています。

「3 国公立大学現役合格率」をご覧ください。

これは、現役合格者実数の1,673名を卒業生数で割って算出したものです。今年度は24.1%であり、平成元年以降最も高い数値となっております。

「4 難関大学・難関学部合格者数」をご覧ください。

この表の数は、過年度の卒業生を含んでいます。右下の令和3年3月卒の合計は256名となっており、過去5年で3番目に多い人数となりました。個別の大学では、東京大学が今年度も二桁を維持していることや、京都大学の合格者が2年ぶりに二桁の人数になったことが特徴として挙げられます。

資料2ページをご覧ください。

今年度の私立大学の状況につきまして、関東、関西の難関私立大学の合格者数は過去5年の平均と同程度となっております。また、大分県内の私立大学合格者数は、2年連続で600名を超えております。

最後に、表には掲載しておりませんが、専門高校からも多数の生徒が大学に合格しており、特に商業科からは、17名の生徒が大分大学などに合格しています。

これらの大学入試結果等の情報の活用を図りながら、生徒の進路実現のため、組織的な授業改善等、進学力の向上に一層努めていきます。

報告は、以上です。

(工藤教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見なし)

② 令和3年度スーパーサイエンスハイスクールの採択について

(2課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(工藤教育長)

次に、報告第2号「令和3年度スーパーサイエンスハイスクールの採択について」高校教育課長から説明をしてください。

(三浦高校教育課長)

スーパーサイエンスハイスクールの新規採択決定について、報告します。

資料1ページをご覧ください。

令和3年度から新たに4年間、文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール重点枠に、大分舞鶴高校が採択されました。

今回指定された重点枠は、スーパーサイエンスハイスクールの中でも、地域全体の理数教育の核となる学校への特別な指定です。宇宙に関わる社会との共創により、Society5.0の社会を牽引し世界や地域で活躍するイノベーション創出人材の育成を目指しています。本県の高校のみならず、九州内のスーパーサイエンスハイスクール指定校との連携、最先端研究施設での研修や大学との共同研究、商工観光労働部と連携を行っていきます。

次に、資料3ページをご覧ください。

令和3年度からスーパーサイエンスハイスクールの基礎枠に、日田高校が採択されました。探究的な学校独自の科目をステアリングとし、授業改善、外部連携、裾野拡大に取り組みます。それによって探究力、波及力、基礎力を身に付けさせ、未来開拓型科学技術人材の育成を目指します。なお、日田高校は今回3期目の指定となります。

本県には、スーパーサイエンスハイスクール指定校として、大分舞鶴高校、日田高校、佐伯鶴城高校と3校があります。その3校を中心にして、教員の指導力向上を含めた、県全体の科学技術系人材育成のシステムの構築を図っていきたいと考えています。

報告は、以上です。

(工藤教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(林委員)

東洋大学食環境科学部の後藤教授が大分県2校（大分舞鶴高校、日田高校）の外部協力者になっていますが、どのような分野が専門ですか。宇宙に関する専門なのか、スーパーサイエンスハイスクールに特化した先生なののでしょうか。

(三浦高校教育課長)

専門に特化した形ではありませんが、色々な方面の先生方をお呼びして指導していただいています。

(工藤教育長)

後ほど詳しく調べて教えてください。

(高橋委員)

資料2ページに「アントレプレナーシップ」と記載されていますが、興味がある生徒に大学進学の手筋を示すものですか。

(三浦高校教育課長)

「アントレプレナーシップ」は企業家（起業家）精神ということですが、事業を立ち上げるという感覚だけでなく、課題を自ら発見して解決をしていく素地を作っていくことを目指しています。

(高橋委員)

例えば、マネジメントを学んで大分県の宇宙港の取組に関わるとか、自ら起業するとか、MBA（経営学修士）を取得するとか、そのような素質のある人を大学に進学させることができるような環境づくりをしてほしいです。

また、高校で学んだ先端技術やマネジメントなどを、大学、企業まで段階的につなげていく取組が必要だと思っています。そのために、大分県内の企業とのマッチングも考えてほしいです。

(岩武委員)

大分舞鶴高校は、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）にかなり長く指定されており、日田高校も3期目ということですが、両校にとって、このSSHの指定をされた研究によって得た、一番大きい成果は何だと考えていますか。

(三浦高校教育課長)

新しい時代に向かって、探究的な学びを学校独自で考え出し、生徒も課題を解決しながら学んでいく力を身に付けることに役立っていると思います。教科書に書かれたことだけを学ぶのではなく、社会の課題を自ら発見できるような環境を作って、企業や大学と関わりながら問題を解決していくための道筋ができているのではないかと考えています。

(林委員)

日田高校の「Water Science」の取組の成果を教えてください。

(三浦高校教育課長)

日田は「水郷ひた」と言われ、水が清らかでおいしい場所として知られています。一方で、豪雨など自然災害が多く発生している場所でもあります。治水や農業用水など地域のことを学ぶことで地域愛が芽生える学びにつながっています。

(林委員)

筑後川下流でクリーク農業が盛んに行われています。日田の上流から筑後川に流れ、有明海までの流れた水が沿岸域にどう影響しているか、どうやって農業を潤しているかを日田高校で研究できるとよいと思いました。

(岩武委員)

日田高校、佐伯鶴城高校は両方ともSSHの指定校で日頃の授業ではなかなかできない探究的な取組をしていると思うのですが、残念ながら今年度の高校入試の生徒募集の面は厳しかったようです。SSHという素晴らしい取組は、興味を持つ中学生にはとても魅力的だと思いますが、これだけの取組の魅力を中学生にどのように発信しようとしていますか。

(三浦高校教育課長)

以前より日田高校では理科の授業で、小学校、中学校と連携して取り組んでいます。一緒に取り組むことによって、理数教育、探究的な学びの面白さを伝えていきます。

佐伯鶴城高校につきましても、幼・小・中・高で連携しながら取り組んでいます。しかし、高校を選択する段階で、どこで学ぶのかというキャリアデザインとSSHの魅力がマッチングできていないことが課題と考えていますので、今後、指導をしながら進めていきたいと思っています。

(工藤教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開でその他、何かありますか。

では、非公開の議事を行いますので、傍聴人は退出してください。

【議 案】

第 1 号議案 令和 3 年度大分県教科用図書選定審議会委員の任命について

(2 課〔教育改革・企画課、義務教育課〕入室)

(工藤教育長)

それでは、第 1 号議案「令和 3 年度大分県教科用図書選定審議会委員の任命について」提案しますので、義務教育課長から説明をしてください。

(説 明)

(工藤教育長)

ただ今説明のありました議案について、審議します。ご質問・ご意見はありますか。

(質問・意見)

(工藤教育長)

第 1 号議案の承認についてお諮りします。第 1 号議案について、承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(工藤教育長)

第 1 号議案について、提案のとおり承認します。

【協 議】

① 令和 4 年度（令和 3 年度実施）教員採用選考試験実施要項（案）について

(2 課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(工藤教育長)

次に、協議第 1 号「令和 4 年度（令和 3 年度実施）教員採用選考試験実施要項（案）について」教育人事課長から説明をしてください。

(説 明)

(工藤教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(工藤教育長)

今回の協議の結果を踏まえて、準備を進めていきたいと思えます。

② 令和4年度(令和3年度実施)民間人校長採用選考(案)について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(工藤教育長)

次に、協議第2号「令和4年度(令和3年度実施)民間人校長採用選考(案)について」教育人事課長から説明をしてください。

(説明)

(工藤教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(工藤教育長)

今回の協議の結果を踏まえて、準備を進めていきたいと思えます。

③ 令和4年度(令和3年度実施)大分県教育庁等職員(埋蔵文化財担当)採用選考(案)について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(工藤教育長)

次に、協議第3号「令和4年度(令和3年度実施)大分県教育庁等職員(埋蔵文化財担当)採用選考(案)について」教育人事課長から説明をしてください。

(説明)

(工藤教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(工藤教育長)

今回の協議結果を踏まえて、準備を進めていきたいと思えます。

④ 大分県社会教育委員の委嘱について

(2課〔教育改革・企画課、社会教育課〕入室)

(工藤教育長)

次に、協議第4号「大分県社会教育委員の委嘱について」社会教育課長から説明をしてください。

(説 明)

(工藤教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(工藤教育長)

今回の協議の結果を踏まえて、準備を進めていきたいと思えます。

(工藤教育長)

最後にその他、何かありますか。

それでは、これで令和3年度第1回教育委員会会議を閉会します。

ありがとうございました。